

ダイレクト浸炭

ダイレクト浸炭

1. ダイレクト浸炭(真空浸炭)

ダイレクト浸炭は、ガス浸炭と真空技術を融合させて生まれた全く新しいコンセプトの浸炭法で「環境」

不飽和炭化水素ガスを極々少量使用するだけで浸炭する画期的方法です。

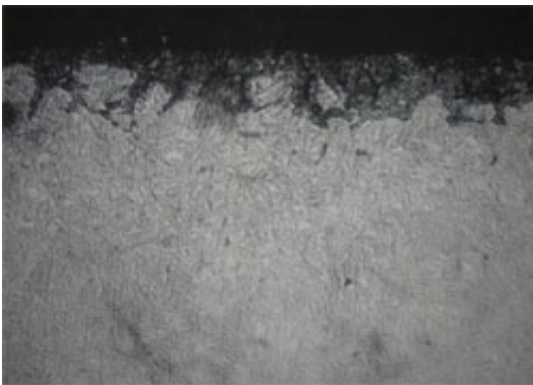
2. 特徴

- (1) 粒界酸化(表面の合金成分の酸化)がありません。
- (2) 細孔の浸炭が可能です。
- (3) 高濃度浸炭が可能です。
- (4) 極浅浸炭(30~50 μ m)が可能です。
- (5) 減圧焼入が可能です。
- (6) 仕上肌が良好です。
- (7) スーティング(媒の析出)致しません。
- (8) CO₂を排出致しません。
- (9) 加工工場へのインライン化が可能です。
- (10) 無人操業が可能です。

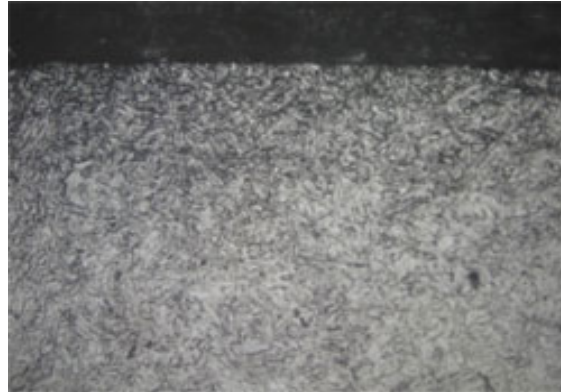
3. 用途

自動車部品(歯車、シャフト等)、二輪車部品、建設機械部品、編機、OA機器、家電部品等

4. 断面組織(×625)



ガス浸炭の表面組織



ダイレクト浸炭の表面組織